（様式第１－５号）

　市町村名：　箕面市

⑨その他の創意工夫による取組み

|  |  |
| --- | --- |
| 区分及び事業名  ※１から４のいずれか該当するもの一つに○を付し、（　　　）に事業名を記入してください。  ※１から４の複数の区分に該当するものについては、それぞれ用紙を分けて記入してください。 | １　人権相談分野（事業名：　　　　　　　　　）  ②　地域就労支援分野（事業名：就労準備支援事業）  ３　進路選択支援分野（事業名：　　　　　　　）  ４　生活上のさまざまな課題等の発見又は対応分野  （事業名：　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 取組内容  ※府ホームページへは当様式に記載されている内容を原則そのまま掲載いたします。また、記載にあたりましては現状、現状における課題及び当該課題解決へ向けた取組み内容をできるだけ詳細に記入してください。  【新規・継続の別】　※該当する方に○を付してください。  　 １．新規  　②．継続 【交付対象となった年度：平成28年度】  【 現 状 】  地域就労相談において、若年者・障害者（メンタルヘルスの課題）・ひとり親家庭の親など様々な働くことへの不安を抱えており、それらが原因となり社会に対する不安感からひきこもり状態や就労までの距離かある人が増加している現状がある。  また、新型コロナウイルスの影響により、離職や減収となった人が増加した現状がある。 　就労に向けての自信や意欲を高めるためには、相談者に応じてスモールステップでの就労体験を積むことが有効である場合が多い。  【現状における課題】  長期間離職状態である人やひきこもり状態の人は、社会から孤立している場合が多く、その結果として社会体験の場や人との交流の場が失われているため様々な経験が乏しい。そのような状態にある人には、ハローワーク同行や求人情報の提供などの支援だけでは就労につながりにくいため、一般就労に向けたメニューの工夫や相談者に応じたスモールステップでの支援の工夫が必要になっている。  新型コロナウイルスの影響によって離職や減収となった人は、生活が苦しくなっている場合が多くある。その結果、制度などの情報へのアクセスができない、手続きまでいかないなどにより、視野狭窄に陥ってしまうことがある。  【取組み内容】 ※継続実施分について、取組み内容を拡充する場合は、その内容を追記してください。  　相談者に対して体験型の就労支援メニューを提供した。  経済的、社会的自立を目指す人に対し、様々な社会体験や就労体験を積み重ねることで、就労  意欲や意識を高め、就労につなげることを目的として実施した。体験の場として、隣保館としての機能を積極的に活かし、市内近郊に、ボランティアなど様々な「場」を開拓した。具体的には祭りの運営や、館内イベント、子ども向けイベント、近隣団体や企業と連携したイベントなどの広報物の準備や運営補助などを実施した。また、市の職場体験事業を活用し、３～５日間の一般企業での就労体験実施した。  　体験者に即したプログラムの提案や自身の成長をみえる化するシートを活用した振り返りもあわせて行い、相談室では完結しない実際の就労へのステップアップを支援した。  　状況の整理と制度へのつなぎ（同行支援）については、新型コロナウイルスの影響により生活が苦しくなっている人に対し、まず丁寧な状況の聞き取りと整理を行うことで、現状を相談者と一緒に把握した。その上で優先順位をつけ、課題に対して使える制度や資源につなげた。その際、相談者へ窓口を案内するだけではなく、同行し、相談者のおかれている状況の説明や制度の理解ができたかなどの確認をしながら丁寧につなぐことができた。 | |